

## < 予算特別委員会 > 委員間討論結果

H26.3.18 予算特別委員会

番号	事業名	資料	ページ	質疑内容(論点)	担当部
1	セーフコミュニティ推進事業経費	施策の概要	1	<p>国際的なセーフスクール認証の必要性は、</p> <p>認証取得に経費をかけるよりも、予算は実質的な事業に有効に活用すべきでは、</p>	政策推進室
	公立保育所運営経費	施策の概要	21		健康福祉部
	子どもを守る安全向上事業	施策の概要	4		教育部
2	企画推進経費	施策の概要	3	<p>シンボルプロジェクト推進経費、第4次亀岡市総合計画推進経費、市制60周年記念事業経費の事業実施手法は、</p> <p>シンボルプロジェクトの成果が見えてこない中で、今までの手法で後期計画を進めていけるのか。今後の方向性は、</p> <p>市制60周年記念事業の市民ワーキンググループは事業手法として適切か。</p> <p>放課後居場所づくりをシンボルプロジェクトに位置付けただけで施策展開できるのか。</p>	企画管理部
3	(亀岡会館)会館運営経費	施策の概要	1	<p>立地場所、会館機能、建物の老朽化等総合的にみた存続の方向性は、</p> <p>耐震診断実施にあたり、関係課(市民協働課、中央公民館、建築住宅課)の連携をどのように取るのか。</p> <p>修繕により今後も維持していくのか。</p> <p>文化的な意義をどのように考えているか。</p>	生涯学習部
	公民館運営経費	施策の概要	16		教育部

## < 予算特別委員会 > 委員間討論結果

H26.3.18 予算特別委員会

番号	事業名	資料	ページ	質疑内容(論点)	担当部
4	文化センター運営経費	施策の概要	3	文化センターの運営経費は適正か。 設置は市全体から見た公平性の観点でどうか。  一般施策として市民に公平に行き渡る事業とすべきではないのか。(H24.3予算特別委員会での指摘は反映されたのか。)	生涯学習部
	児童館運営経費	施策の概要	4	設置により市内全域をカバーできるようエリア分けをする考え方は。	生涯学習部
5	電算管理経費 (基幹業務支援システム導入)	施策の概要	2	基幹業務支援システム導入は多額である。コスト面等検討が必要ではないのか。  外部から専門的なアドバイスを受けることにより、コスト削減できる余地はないか。  システム導入を機会に行政サービスをどのように見直していけるのか。	総務部
6	災害対策経費 (情報伝達システムの検討)	施策の概要	13	同報系システム導入の検討にあたっての考え方は。 導入後の市民への伝達速度と体制は。活用方法は。	総務部

## < 予算特別委員会 > 委員間討論結果

H26.3.18 予算特別委員会

番号	事業名	資料	ページ	質疑内容(論点)	担当部
7	火葬場等経費 (新火葬場基本方針調査)	施策の概要	8	<p>新火葬場基本方針調査実施に当たり、新火葬場建設の進め方は。</p> <p>地元住民の意見聴取と意思形成過程への意見の反映に対する考えは。</p> <p>広域の火葬場建設を計画するのか。</p> <p>市民の要望が多い。十分調査し計画を立てやり遂げる考えか。</p>	環境市民部
8	未来に繋がる教育基盤創造事業	施策の概要	2	<p>学校規模適正化に関して今時点での考えは。</p> <p>地元住民の意見聴取をしっかりと行うことが重要である、考えは。</p>	教育部
9	放課後児童対策経費	施策の概要	14	<p>放課後児童会のスペース確保について、H27年度から実施される対象拡大に対応した準備はできるのか。</p> <p>労働力減少のなか女性の労働力は有力である。女性が働きやすい環境を作ることによって地域経済が好循環する施策を、保育の面だけでなく産業振興等多面的に展開する必要がある。考えは。</p>	教育部

# < 予算特別委員会 > 委員間討論結果

H26.3.18 予算特別委員会

番号	事業名	資料	ページ	質疑内容(論点)	担当部
10	大規模スポーツ施設整備関連事業経費	施策の概要		<p>治水面では桂川河道整備事業と切り離せない、考えは。</p> <p>アユモドキの保全に関して提出された意見書の対応は。</p> <p>スタジアムが建設されなくても公園は整備される。その場合の財政面での効果をどう図るのか。</p> <p>都市計画決定後事業を進めるべきではないのか。</p> <p>市の公園に府の施設を建設することは法的にみてどうか。 また、公園及びスタジアム整備面積など都市公園法との整合性はどうか。</p> <p>イベント等が実施される際、京都府と亀岡市の施設が混在するなか整理できるのか。</p> <p>外部効果を測らず進めるのか。</p> <p>経済波及効果の前提条件(アメフト、ラグビーの使用、その他数値等)に対する考えは。</p>	プロジェクトチーム